

## — 院長就任挨拶 —

院長 東 謙 一 郎

本年4月1日、院長に就任いたしました。私は当院に平成16年4月から勤務し、これまで主に糖尿病などの生活習慣病の患者様を担当しています。また、平成20年に当院が県北地域で初めて開設した緩和ケア病棟の担当医も併任しています。

当院は、佐世保市総合医療センターなどの急性期病院と自宅や施設などの間に位置し、その橋渡しを担当する事に注力しています。まず、急性期の治療を終了した患者様が自宅や施設へ安心して戻れるよう、投薬の調整やリハビリテーションなどを行います。一方で、自宅や施設で療養されている患者様の病状が悪化した時、かかりつけ在宅医からの要請を受けて一時的な入院加療を行います。現在、在宅医からあらかじめ登録して頂いた患者様が700名以上おられ、迅速な入院に備えています。

さらに、慢性腎不全に伴う血液透析患者様を長期入院で管理できる数少ない病院であるほか、がん患者様の苦痛軽減を目的とした緩和ケア病棟は未だに県北地域で当院のみです。

外来では、内科疾患を主とした皆様の普段の疾病管理や、個人・企業従業員の健康診断を行っています。

日々の診療を通じて、高齢者の増加、中でも独居生活者や高齢夫婦のみの世帯（老々介護世帯）が増えている事を実感しています。当院では、医療と介護の双方を兼ね備えた施設「介護医療院」を併設し、一般の施設では対応困難な高齢者を受け入れています。また、在宅療養を希望される患者様に対しては、訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所が支援しています。

未だに新型コロナウイルス感染症が収束せず、既に3年目に入りました。検温・ソーシャルディスタンスへのご協力や入院患者様への面会制限など、皆様に多大なご不自由をおかけしています。課題が山ほどある現状ですが、雄博会の理念である「最新の医療とこころ温まる看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。」を念頭に、職員一同と力を合わせて邁進し、地域に貢献する所存です。今後ともご支援・ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

# 新入職員が加わり、新年度がスタート！

今年は4月1日付で16名のスタッフが新たに加わり、入職式を迎えました



## 新入職員研修の様子



社会人として、医療従事者として、そして雄博会の職員としての心構えを学んで頂きました！  
地域医療に貢献できる『人財』となる職員を目指して共に 頑張りましょう！



## ◆◆◆◆◆ 入船医師退任挨拶 ◆◆◆◆◆

呼吸器内科医師 入船 理

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。医師、看護師をはじめスタッフの皆様には大変お世話になりました。あいさつの絶えない職場でとても気持ちよく勤務することができました。4月からは佐世保市総合医療センターで勤務予定です。千住病院で学んだことを生かして今後も精進したいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で職場以外の交流ができなかったことが残念ですが、本当にお世話になりました。

## ◆◆◆◆ 放射線科機器更新のお知らせ ◆◆◆◆

放射線科科長 村井 春樹

令和4年1月にX線一般撮影装置とX線透視撮影装置が20年ぶりに更新されました。両装置とも工事は無事に終了し、現在まで初期トラブル無く良好に稼働しています。装置のおもな特徴として、どちらの装置にも【面積線量表示機能】が搭載されているので、今後必須になる被ばく線量管理や低線量撮影等に役立て、患者様の被ばく軽減に努めてまいります。

◆X線一般撮影装置(島津RADspeed Pro)



◆X線透視撮影装置(島津FLEXAVISION)



## ～インターンシップ感想文～

## 清峰高校から3名、九州文化学園高校から3名の方が

## 清峰高校 1年 森 心夢

実際に、病院の組織の中に入って見て、医師や看護師だけで成り立っているように感じていたけど、そうではなくて、たくさんの職業の方が関わり合って成り立っていることを知りました。初めは緊張や不安な気持ちでいっぱい、あいさつや返事を大きな声ですることが出来なかったけれど、慣れてくると自然とできたり、そうすることで自分も気持ちよくなりました。

このインターンシップで、将来就きたいとしている仕事の内容をじっくり見て学ぶことを目標としていて、この仕事のきつい部分(立ちっぱなし、命の重さ..)や、やりがい(感謝の気持ちを伝えられた時)を少しですが、感じる事が出来ました。自分が理想とする看護師のイメージを立てることが出来ました。どんなに忙しくても、患者様のお話は最後まで聞き、患者様の不安をなくせるような明るい話がたくさんできて、患者様を笑顔にすることが出来る看護師になりたいです。

その為に、今後の生活で気を付けることは、看護師は周りの人との連携が大事なので、常に周りに目を配り、自分の意見を伝えられるようになること。また、コミュニケーション力がものすごく大事になってくるので、今までに話したことがないような人にも積極的に声をかけたりして、なるべくたくさんの人と話をしていこうと思います。

そして、最後はやはり“笑顔”だと思います。自分が笑顔だと周りの人も少し笑顔になってくれると思うからです。この実習で、社会に出て働くことの大変さを知りました。この4日間、本当にきつかったですが、本当にとても楽しかったです。良い経験になりました。

## 清峰高校 1年 山口 佑姫

今回のインターンシップでは事前に立てた「当たり前のことを全力で行う凡事徹底」「同じインターンシップ先に行く人と支え合う」という目標をしっかり意識し、たくさんのことを得ることが出来た。私は看護師と言う仕事に医療ドラマを見て憧れた。だから看護師という仕事のイメージを、医療ドラマを見て勝手に作り、持っていた。

実際自分が看護師の仕事を経験してみると、体の負担がとても大きく、生身の患者さんを目の前に仕事をしていると計画通りにいかないことがほとんどだった。看護の仕事は1日ギッシリ予定が入っており、私たちは、その中で透析患者さんやリハビリ患者さんの送迎や、食事介助などを主に行った。どの仕事も患者さんの日常の当たり前のことなので、1つ1つの仕事を丁寧に落ち着いて取り組んだ。また、このように私が取り組むことが出来たのは、一緒に実習を行った2人と助け、支え合うことが出来たからだと思う。

計画を立てることは頑張ればできることだけど、実際患者さんを相手にする仕事を目の前にすると緊張などで出来なくなることがほとんどだった。

そしてそんなときに一緒に仕事を声を掛け合いながら行ったり、できなかつたら変わりあったりすることで良いチームワークで気持ちよく仕事できることを知ることが出来た。

仕事を行うということは、特に看護師の仕事は、個々の仕事1つ1つに対する意識がとても大切だと思った。そしてその意識を高めるためにチームワークが必要だと思う。

だから、普通のコミュニケーションだけでなく、様々な人とコミュニケーションを取れるようになりたいと思う。

## 清峰高校 1年 山下 翼

4日間のインターンシップの実習記録を見て、それぞれの4つの目標を見てみると、全部に共通することは、実習先に迷惑をかけることだと思う。あと4つの目標もその目標を立てた日だけでなく、4日間すべて出来ていた。実習前に記録していた「インターンシップに向けて」を確認すると、そこに書いていた目標や決意などはきちんとインターンシップで出来ていたと思う。今回のインターンシップでは緊張は結構したけど、礼儀や心構えを忘れず、たくさん楽しめたいものになった。

将来の夢が看護師で、今回のインターンシップ先である千住病院を選ばせて頂いたが、看護師の仕事とは予想以上にたくさんあり、自分が思っていたよりもっときつい仕事ということが分かった。

看護師さんたちはそんなきつい中でも患者さんへの態度は丁寧でとても好感が持てるような感じだった。普段は体験出来ないようなこともたくさんさせてもらい、普段行けないような部屋などにも入らせてもらって本当にたくさんのことを学ぶことが出来て本当に楽しかった。

これからは将来の夢である看護師という目標に向かって今回のインターンシップで学ばせてもらったことを活かして頑張っていきたいと思う。





# インターンシップに見えられました!

## 九州文化学園高等学校 2年 松尾 知花

まず、大変な時期に4日間という短いようで長い間、迷惑をおかけすることも多々あったと思いますが、インターンシップ体験をさせて頂き、ありがとうございました。私が今回インターンシップで病院を選んだ理由は、母が看護師をしていて私の小さいころの夢が看護師だったからです。年齢が上がっていき、仕事の大変さを知っていくにつれ、心のどこかで、私には無理だと思うところがありました。

しかし、何も知らずに諦めるより実際に看護業務を見たり聞いたり、病院の雰囲気を知ってから考えたいと思い、来させて頂きました。業務の一部をシャドウイングさせて頂き、患者様に寄り添った看護だけでなく、看護師同士のコミュニケーションであったり、どのような患者様が入院されているか、看護師・患者様の一日のスケジュールを知ることが出来ました。また、担当になった病棟だけでなく、ME室や薬剤科、リハビリテーションや栄養管理科などの仕事内容や特徴、そして透析室や放射線科などで直接患者様の生命に関わる業務を見て、病院は全ての期間やスタッフの連携により、成り立っていることも知りました。

私が4日間で一番印象に残っているのは、患者様に対して何かするとき、一つ一つ声を掛けていたことと患者様が看護師を心の底から信頼されている様子です。看護師や医師を信頼して命を預けることは簡単なことではないと思います。なので、どんな経験を積み、どんなコミュニケーションを取れば信頼される人間になれるのだろうと思いました。

今回、短い時間で貴重な体験、そして内容の濃い勉強をさせて頂き、ありがとうございました。このインターンシップを通して、将来の視野が広がり、楽しみになりました。

看護師でありながら、シングルアザーの母の偉大さにも気づかされたので、私にできることがあれば、積極的にやっていきたいなと感じました。

## 九州文化学園高等学校 2年 山口 鈴

今回たくさんの職種を見学して興味がわいたのは、薬剤科です。私は小さいころから、原因不明の蕁麻疹や、小児喘息を持っていて常に薬を持ち歩いています。小児喘息は、小学生のことまでひどく季節の変わり目の時は、薬を毎日飲んでいたり、蕁麻疹は今でも急にかゆくなったりしていて、薬には小さい頃から助けられています。

薬剤科を見学して、たくさんの薬の種類があり、一つ一つ把握していて、患者様に合った薬の量を調整したり、症状に合った薬を作っているのを見て、辛い思いをしている人、苦しんでいる人の力に少しでもなりたいなと思いました。

4日間看護師の方やケアスタッフの方の仕事を見て、とても尊敬しました。姉と義理の兄がこんなにも、たくさんの人の日常生活や病氣と向かい合って仕事をしていると初めて知って姉達のように、人の役に立てるような大人になりたいと思いました。4日間貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

## 九州文化学園高等学校 2年 吉田 安里

歯科衛生士や薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士など、病院の中でもいろいろな職業があり、色々なお話を聞くことが出来、とても充実したインターンシップになったと思います。4日間体験するのも疲れるのに、大人は毎日していると考えると本当にすごいなと思います。病院にインターンシップに来て、自分は将来理学療法士になりたいと強く思いました。

この4日間、お忙しい中私たちに時間を使って頂き、感謝でいっぱいです。学んだことを、今後の学校生活、日常生活で行かせることがあると思うので、活かしていきたいと思います。4日間ありがとうございました。



## 訪問リハビリテーションのご案内

訪問リハビリテーションでは、通院が困難な方のご家庭へ、理学療法士、作業療法士等が直接お伺いし、歩行練習、食事動作、コミュニケーションなどの日常生活に直結した練習を実施します。



ご対象者：介護保険利用者(要介護・要支援)  
 営業日：月曜日～金曜日(13:30～17:30)  
 休業日：土・日・祝祭日・盆休み(8/14～15)、年末年始(12/31、1/1～1/3)  
 サービス提供地域：佐世保市内(吉井・小佐々・宇久・江迎・鹿町を除く)



まずは担当のケアマネージャーに相談しましょう!!  
 問合せ先：TEL 0956(24)1010 千住病院 地域連携室

### ◆◆◆◆◆ 千住病院 外来担当医師のご案内 ◆◆◆◆◆

診察時間 曜日	午前 (受付8:30～12:00) 9:00～12:30	午後 (専門外来のみ 予約制) 14:00～16:00
	月曜日	福田 (神経内科) ト部 (呼吸器内科)
火曜日	千住(博) (呼吸器内科) 東 (内分泌内科)	永江(呼吸器内科)
水曜日	谷岡 (消化器内科) ト部 (呼吸器内科)	
木曜日	千住(雅) (消化器内科) 田中 (呼吸器内科)	福田(脳神経内科) 西川(腎臓内科)
金曜日	金沢 (消化器内科) 佐藤 (循環器内科)	籠手田(血液内科・緩和ケア)
土曜日	交代制	休診

### ◆◆◆ 千住病院・千住ビル往復シャトルバス運行表 ◆◆◆

病院(宮地町)発	千住ビル(栄町)発	病院(宮地町)発	千住ビル(栄町)発
午 前		午 後	
8時(07、23、43)分	8時(15、30、50)分	13時(30)分	13時(00、37)分
9時(03、23、43)分	9時(10、30、50)分	14時(00、30)分	14時(07、37)分
10時(03、23、43)分	10時(10、30、50)分	15時(00、30)分	15時(07、37)分
11時(03、23、43)分	11時(10、30、50)分	16時00分	16時07分
12時(03、23、53)分	12時(10、30)分		

※乗車される際のマスク着用、検温、手指消毒にご協力下さい。



## ■ 地域包括ケア病棟のお知らせ

地域包括ケア病棟とは、

- ①急性期医療を終了した後の患者様が在宅や施設へ退院するための医療管理・リハビリ・看護などを行う病棟
- ②在宅療養中の患者様に入院が必要になった時、在宅医からの依頼を受けて入院をお受けする病棟です。

また、在宅復帰支援計画に基づき医療チーム(医師・看護師・リハビリ担当者・MSW等)が退院へ向けての支援を行います。

当病棟での入院期間は基本60日が限度ですが、状態により調整致します。

ご入院のご希望は地域医療連携室まで、お問い合わせをお願い致します。



## ■ 介護医療院とは？

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい、生活支援が確保される体制の中でつくられました。長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象に「生活施設」としての機能、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」などの医療機能を兼ね備えた施設です。

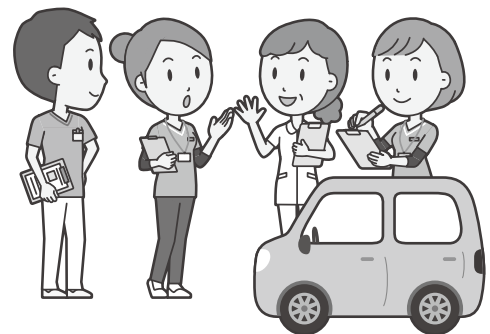
2018年4月1日に開設され、2フロア合計75床あり、リハビリや お誕生日会、レクリエーションも開催しています。医師・看護師・介護 職員、歯科医師・歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ訓練士、相談員などと連携しご利用者様とご家族様への支援を行っています。



## ■ 訪問看護・居宅介護支援のご案内

訪問看護では、安心してご自宅で生活できるよう病状観察、清潔援助、終末期のケア、24時間の緊急連絡等の対応を行っています。また、ケアマネージャーもおり、介護保険全般に関する事、ご家族も含めて相談に応じています。

お気軽にご相談下さい。



## 編集後記

新型コロナが発生して2年が経とうとしています。私は昨年の3月に結婚し、今年の5月に第1子が生まれます。子育ての準備をしており、2~3年後はマイホームを建てたいと思い、暇があればモデルハウスの見学に行っています。

リハビリテーション科 樋口

## 雄 博 会 理 念

### ◎ 理 念

最新の医療とこころ温まる看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。

### ◎ 基本方針

- (1) 患者様の人権を尊重し、誠意と責任をもって、患者様とご家族の立場に立った最善の医療・看護・介護を提供します。
- (2) 医療連携を推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる医療機関であることに努めます。
- (3) 研修・教育を通して常に向上心を培い、質の高い最新の医療が実践できるように絶えず努力します。
- (4) チーム医療をもって社会復帰や在宅を支援すると同時に、地域の健康増進のための医療サービスを提供します。
- (5) 患者様の心身の痛みに対し、最善の緩和医療を提供し、患者様とご家族を支援します。

### ◎ 患者様の権利

- (1) 患者様は、適切で質の良い医療を受ける権利を有します。
- (2) 患者様は、ご自分の医療の内容について知る権利とわかりやすい言葉で説明を受ける権利を有します。
- (3) 患者様は、人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します。
- (4) 患者様は、ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します。
- (5) 患者様は、ご自分の医療にかかる情報を入手できる権利を有します。
- (6) 患者様は、ご自分の受ける医療について他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を有します。



救急告示病院  
日本医療機能評価認定病院  
特定医療法人 雄博会

# 千住病院



病 院  介護医療院

〒857-0026 佐世保市宮地町 5-5  
TEL 0956-24-1010 FAX 0956-24-8590  
<http://www.1010hosp.or.jp>

訪問看護ステーション  指定居宅介護支援事業所

〒857-0026 佐世保市宮地町 5-5  
TEL 0956-23-9273 FAX 0956-23-9274

#### 【広報委員会】

《委員長》村井 春樹  
《副委員長》前田 康幸  
《委員》千住 雅博・大島 文子・川久保知恵  
米倉 久美・内田 恵美・金沢 淑子  
樋口 翔平・甲斐 咲紀・原 大  
金子 陽子  
《印刷》(有)プリメックス